

高岡市総合計画第4次基本計画「まちづくり指標」(案)について

資料No.1-3 参考資料

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
1	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	①新たな事業活動の創出	◎創案件数(累計)	産業企画課	増加指標	件	171 (R2)	120	240	360	480	600	産業振興ビジョンと平仄を合わせ、120件/年の創案件数を目標値とするもの	◎創案件数(累計)
2	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	②地域産業の競争力強化	◎㊦企業訪問における新商品開発・販路開拓相談件数	産業企画課	増加指標	件	84 (R2)	109	112	115	118	121	総合戦略、産業振興ビジョンと平仄を合わせた目標値とし、相談対応の件数を毎年3件増加させるもの	◎新技術・新製品・新サービス開発件数(累計)
3	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している		◎伝統産業生産額の維持	産業企画課	維持指標	百万円	10,716 (R元)	10,716	10,716	10,716	10,716	10,716	産業振興ビジョンと合わせた目標値とし、基準値の維持を目指す。	◎伝統産業の生産額
	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している		◎創案件数(累計)(再掲)	産業企画課	増加指標	件	171 (R2)	120	240	360	480	600	産業振興ビジョンと平仄を合わせ、120件/年の創案件数を目標値とするもの	
4	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	③産業基盤の整備・企業立地の推進	◎㊦市内企業の設備投資件数(累計)	産業企画課	増加指標	件	6 (R元)	10	20	30	40	50	設備投資の促進や雇用機会の拡大を図るため、企業立地助成金を用いた支援件数10件/年を目標とするもの。 ※基準値:令和元年度の新規案件数(新型コロナウイルス蔓延前)	◎企業団地への進出企業数(累計)
5	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	④中小・小規模企業の経営基盤強化	㊦連携体制による事業承継件数(累計)	産業企画課	増加指標	件	-	1	2	3	4	5	総合戦略では事業承継に関する相談件数を30件/年としており、うち1件/年の事業承継が進むよう取り組むもの	専門家派遣利用企業数
6	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している		㊦養成スクール修了生の内、伝統工芸産業に従事する人数(累計)	デザイン・工芸センター	増加指標	人	38(前期12人、後期26人、2力年の人数)	12	38	50	76	88	目標値には伝統産業界に継続的に従事している人、新たに業界に従事し始めた人の両方を含み、技術を学んだ人材として業界で活動し、活性化に結び付けるもの	伝統産業の技術・技法の継承者が市内企業に定着する人数(累計)
7	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	⑤雇用・勤労者福祉の充実	㊦とやま呉西地区圏域連携 就業マッチング参加登録者数(求職者(新規学卒者のほか、転職希望者、UIターン希望者含))	商業雇用課	維持指標	人	280	300	300	300	300	300	第2期とやま呉西圏域連携事業のKPIと同様に設定	合同就職面接会における就職率
8	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	①農業の持続的発展	㊦新規就農者の増加数(累計)	農業水産課	増加指標	人	-	10	20	30	40	50	第3期農振プランに掲げるKPIと平仄を合わせた指標とし、70歳以上が多くを占める担い手の年齢構成から、持続可能な若者を中心とした構成への転換を目指し、年間10人の新規就農を目標とするもの。	担い手への農地集積率
9	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある		㊦スマート農業技術導入率	農業水産課	増加指標	%	34 (R2)	42	47	51	55	59	第3期農振プランに掲げるKPIと平仄を合わせた指標とし、効率的な農業展開及び技術継承の円滑化に繋がるスマート農業導入のための支援を行い、年間5件を目標。(担い手:年5経営体/125経営体=年間4%の増加)	6次産業化の新規事業取組者数(累計)
10	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	②農山村の振興	都市農村交流人口	農業水産課	増加指標	人	4,000 (R元)	4,200	4,300	4,400	4,500	4,600	第3期農振プランに掲げるKGIと平仄を合わせた指標とし、観光農園や収穫体験等都市と農村住民が交流する事業の参加者(スタッフ等関係者含む)の100人/年増加を目標とする	都市農村交流事業による交流人口
11	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	③林業の振興	㊦森林整備面積(累計)	農地林務課	増加指標	ha	145 (R元)	155	160	165	170	175	水と緑の森づくり事業により、森林の持つ多面的機能の増進と、森林資源の充実を図るため、年間5haの整備を目指す。	里山の再整備面積
12	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	④水産業の振興	㊦農畜水産物の高付加価値化への支援件数(累計)	農業水産課	増加指標	件	5 (R2)	9	11	13	15	17	第3期農振プランに掲げる活動指標と平仄を合わせた指標とし、農畜水産物高付加価値化・販路拡大推進支援事業補助金支援数のうち、高付加価値化の支援件数を年間2件の増加を目標とする。	アユ等の稚魚放流数
13	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	①文化財の保存・活用	文化施設入込者数(瑞龍寺、勝興寺、武田家住宅、伏木北前船資料館、土蔵造りのまち資料館、伏木気象資料館、鑄物資料館、高岡御車山会館)	文化財保護活用課	増加指標	人/年	260,793 (R元)	267,200	273,400	279,600	285,800	292,000	対象文化施設のうち、勝興寺、武田家住宅、伏木北前船資料館、伏木気象資料館、鑄物資料館は増加、その他は維持	歴史・文化施設入込者数(瑞龍寺、勝興寺、土蔵造りのまち資料館、鑄物資料館、伏木気象資料館、古城公園、御車山会館)
14	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	②歴史的風致の保全・活用	◎㊦地域の歴史・文化遺産に関するまちづくり出前講座の実施数	景観みどり課	増加指標	回	11 (H30)	15	15	15	15	15	H30年度の実績値を基準値とした。各年度の目標値は令和4年から6年までを総合戦略で掲げている目標値とあわせ、以降については継続。	建築物等の修景実績件数(累計)

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)	
15	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている	①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成	㊦市場街の現地イベント来場者数及びオンライン配信動画の視聴者数	文化創造課	増加指標	人/年	24,300 (R元)	24,900	25,500	26,000	26,500	27,000	R元年度の現地イベント来場者数実績を基準値として、令和8年度の現地イベント来場者数及びオンライン配信動画視聴者数合計を10%増加させることを目標とする。	「TAKAOKA まちも、ものづくりも、ライバルはご先祖様。」文化創造都市HPアクセス数	
16	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている		高岡市万葉歴史館の入館者数	文化創造課	増加指標	人/年	22,736 (H30)	25,300	25,800	26,300	26,800	27,300	30年度の入館者数実績を基準値として、令和8年度に20%増加させることを目標とする。	高岡市万葉歴史館の入館者数	
17	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	①観光資源の発掘と保存・活用	高岡市の観光客入込数	観光交流課	増加指標	千人	3,850 (H30)	3,922	3,940	3,958	3,960	3,965	基準値から約3%の増を図る(コロナ禍以前北陸新幹線開業後の年平均伸び率を踏まえた増加割合)	高岡市の観光客入込数	
18	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている		㊦市内主要観光地入込客数	観光交流課	増加指標	千人	223 (H30)	228	229	230	230	230	基準値から約3%の増を図る(コロナ禍以前、新幹線開業後の年平均伸び率を踏まえた増加割合)	高岡市の観光客入込数	
19	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている		旅行プログラムの販売者数	観光交流課	増加指標	人	1,271 (H30)	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	基準値から年間約100名ずつの増加を図る(コロナ禍以前3か年における年間平均増加数)	着地型旅行商品の参加者数	
	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	②広域観光の推進	旅行プログラムの販売者数(再掲)	観光交流課	増加指標	人	1,271 (H30)	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	基準値から年間約100名ずつの増加を図る(コロナ禍以前3か年における年間平均増加数)	旅行プログラムの販売人数	
20	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	③イメージアップ・誘致活動の強化	観光ボランティアによるガイド件数	観光交流課	維持指標	件	978 (H30)	980	990	990	1,000	1,000	基準値の維持(減少傾向にある中で維持を図る)	観光ボランティアの利用者数	
21	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている		㊦市HPのアクセス件数	秘書課	増加指標	千件	5,350 (H28-R2平均)	5,480	5,520	5,550	5,580	5,610	H28~R2年度の5カ年平均値(新型コロナ関連情報へのアクセスを除く)を基準とする。交流・観光を目的としたHPのアクセス数を3%増(主要観光地入込客数の指標と同様の増加率)、暮らしの情報を得ることを目的としたHPアクセス数を2%増、合わせて5%増を令和8年度の目標とする	高岡関連PR記事等の掲載件数	
22	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	④国内・国外交流の推進	㊦大規模コンベンションの市内開催件数	観光交流課	維持指標	件	30 (H30)	31	32	32	33	33	基準値から3件増(50人以上の全国・ブロック大会等)を2か年に1件増のペース	コンベンション誘致件数	
23	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	⑤インバウンドの推進	◎市内外国人宿泊者数	観光交流課	増加指標	人	10,511 (H30)	13,250	13,935	14,620	14,700	15,000	基準値から約50%増(コロナ禍以前北陸新幹線開業後の年平均伸び率を踏まえた増加割合)	外国人宿泊者数	
24	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	①商業・サービス業の振興	◎開業件数(累計)	商業雇用課	増加指標	件	-	(12)	(24)	(36)	(48)	60	(現在策定中の)第4次中心市街地活性化基本計画の目標指標と同様に設定	中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数	
25	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	②中心市街地活性化の推進	◎中心市街地における歩行者通行量(1日当たり)	商業雇用課	増加指標	人/日	10,149 (R2)	(12,000)	(13,000)	(14,000)	(15,000)	15,000	(現在策定中の)第4次中心市街地活性化基本計画の目標指標と同様に設定	中心市街地・観光地周辺における歩行者通行量(1日あたり)	
26	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている		◎たかおか暮らし支援事業(まちなか区域)に伴う定住人数	建築政策課	維持指標	人	60 (H25-27平均)	60	60	60	60	60	60	持続可能な都市を目指し、まちなかの活性化と周辺市街地への定住促進を図るため、たかおか暮らし支援事業による居住人数60人/年を設定し、累計300人/5年間の維持を図る。	◎まちなか居住推進総合対策事業に伴う定住人数
27	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	③市街地の整備	◎㊦居住誘導区域内の人口密度	都市計画課	維持指標	人	-	40	40	40	40	40	人口減少・少子高齢化が進行する中、20年後(R17)においても持続可能で安心して暮らし続けられる都市を目指し、各市街地において一定の人口密度が維持された「コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくりを進める。このため、指標の目標値については、人口集中地区(DID)の設定基準の一つである40人/haという数値を採用した。	市街地整備区域内の居住人口	
	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	④住宅・宅地の整備	◎たかおか暮らし支援事業(まちなか区域)に伴う定住人数(再掲)	建築政策課	維持指標	人	60 (H25-27平均)	60	60	60	60	60	60	持続可能な都市を目指し、まちなかの活性化と周辺市街地への定住促進を図るため、たかおか暮らし支援事業による居住人数60人/年を設定し、累計300人/5年間の維持を図る。	◎まちなか居住推進総合対策事業に伴う定住人数
28	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている		老朽危険空家除却支援件数	建築政策課	維持指標	件	5 (H27)	8	9	9	10	10	10	居住ニーズに応じて、誰もが安心して住み続けられるよう、適正な管理が行われていない老朽化した危険な空き家の除却を促進する。(R9:10件/年以上)	老朽危険空家除却支援件数

No.	分野	めざまの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (◎は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
29	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	◎良好な都市景観の創出	違反広告物等の是正件数	景観みどり課	増加指標	件/年	10 (R2)	10	10	10	10	10	第3次総合計画では、既存不適格となった屋外広告物の是正件数を目標値としていたが、今年度でほぼ完了するため、第4次総合計画では、違反広告物の是正指導を目標値として設定し、数値については継続とする。	違反屋外広告物等の是正件数
30	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	◎高岡駅・新高岡駅の周辺整備	◎高岡駅・新高岡駅の利用者数	総合交通課	増加指標	人	11,970 (R1) 8,666 (R2)	-	-	-	-	13,000	高岡駅の利用者数はコロナ前の水準に戻し、その水準を維持する。新高岡駅の利用者数はかがやき停車の指標である3,000人を掲げる。	公共交通乗車人数(JR西日本、あいの風とやま鉄道、万葉線、路線バス、コミュニティバス)
31	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている		◎公共交通利用率	総合交通課	増加指標	%	8.40 (R2)	-	-	-	-	算定中	将来に公共交通を繋いでいくため、骨格的公共交通の維持や市民協働型地域交通システムの導入する地域を増加させていくとともに、市民の過度の自動車に依存するライフスタイルからの脱却を目指す。(市民アンケート調査による)	◎公共交通人口カバー率
32	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	◎高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備	都市計画道路整備率	道路整備課	増加指標	%	81.6 (R2)	81.9	82.0	82.2	82.3	82.4	幹線道路の充実を図ることは、地域産業を物流面から支援するだけでなく、豪雨や豪雪、大地震等の災害時においても安定的な人流や物流の確保につながることから、近隣都市へのアクセス強化、駅やIC、港へのアクセス向上など、広域的な道路網の整備を進めることとしている。このため、主要な幹線道路網を全て網羅した都市計画道路の整備率を指標とした。	都市計画道路整備率
33	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	◎港湾の整備・活用	クルーズ客船の寄港回数	みなと振興課	増加指標	隻/年	4 (H30)	11	13	14	14	15	県の「元氣とやま創造計画」の目標値より算出	船舶の寄港数(クルーズ客船・RORO船)
34	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	◎広域連携の推進	◎第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン計画期間中に立ち上げた新規連携事業数	都市経営課	増加指標	事業	-	0	0	0	2	2	第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョンのKPIと同様に設定。	◎「呉西圏域」都市圏ビジョン記載連携事業の実施数
35	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	◎教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実	認定こども園の設置数(累計)	子ども・子育て課	増加指標	園	19 (R2)	20	20	20	21	21	「第2期高岡市子ども・子育て支援事業計画」の目標値を設定 ※市内保育園の認定こども園への移行調査結果を反映した数値	認定こども園の設置数
	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる													病児保育(病児対応型及び病後児対応型)事業実施施設数
36	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	◎新たな子育て情報提供システムの構築	スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数(累計)	子ども・子育て課	増加指標	人	782 (R2)	2,300	2,700	3,100	3,500	3,900	年間約1,000人の出生者に対し、父母が約2,000人。全ての家庭において、第1子の父母のどちらかがアプリに登録し、その割合を4割(400人:過去実績ベース)とする(※新生児の中には第2子以降の者も存在するため、既に登録している父母が一定数存在する)また、旧アプリからの移行者を9割(2,561×90%=2,305)に設定し、R4年度までに移行を終えることを想定。そのうち、R3.3末までの登録者は移行者であると仮定し、目標値とする。	スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数
	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる													子育てに関する相談対応件数
37	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	◎安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	子育てへの不安・負担度	子ども・子育て課	減少指標	%	51.4 (R2)	50.4	49.4	48.4	47.4	46.4	毎年度、子育てへの不安・負担度を評価するアンケートを実施。R2年度調査の51.4%を基準値として設定。(第3期計画では基準値41.7%、目標値28.0%を設定していたが、最終年度の数値は51.4%となっており、今回は着実に減少を目指す目標とする。)	◎子育てへの不安・負担度
38	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる		生後3か月までの乳児のいる家庭訪問率	健康増進課	維持指標	%	99.8 (R2)	99.9	99.9	100	100	100	産後1~2か月の母親の育児不安が大きい時期に、専門職が家庭訪問し、育児相談や産後うつへの必要な医療・サービスに繋げる。	生後3か月までの乳児のいる家庭訪問率

No.	分野	めざまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)	
39	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	④地域の子育て力の応援	子育て支援の実感度	子ども・子育て課	増加指標	%	43.2 (R2)	45.0	46.8	48.6	50.4	52.0	毎年度、子育て支援の実感度を評価するアンケートを実施。R2年度調査の43.2%を基準値として設定。	◎子育て支援の実感度	
40	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる		◎㊦放課後児童クラブの入所者数	子ども・子育て課	増加指標	人	1,321 (R3.4)	1,450	1,530	1,630	1,630	1,630	放課後児童クラブの利用需要が充足することを目標とする。令和6年度までは、第2期子ども・子育て支援事業計画(R2～6)の需要量・供給量に基づき記載。	平日の19時までの開所が可能な放課後児童クラブの数	
41	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	教員研修評価アンケートにおける満足度	学校教育課	維持指標	%	90 (R1～2実績を基に算出)	90	90	90	90	90	ICTや小中一貫教育等、教育課題や教員のニーズに応じた研修会の企画・運営を進めるため、教員アンケートの「ニーズに合っていたか」「今後の教育活動に生かせるか」の質問に対する満足度を指標とする。	教員研修評価アンケートにおいて、満足・概ね満足と答えた教員の割合	
42	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている		児童・生徒1人あたりの学校図書貸出冊数	学校教育課	維持指標	冊/月	4	4	4	4	4	4	児童生徒の読書意欲を高め、豊かな感性の基盤を育むため	児童・生徒1人あたりの学校図書貸出冊数	
43	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている		学校給食に使用する地場産食材の品目	学校教育課	増加指標	品目	24 (H29)	26	26	26	26	26	26	食育と地産地消を推進するため、地場産食材(青果物)品目数を26品目以上に設定	学校給食に使用する地場産食材の品目
44	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	英検3級以上を取得している中学3年生の割合(英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒を含む)	学校教育課	増加指標	%	50 (文科省で定める基準)	50	52	53	53	55	授業や活動を通して外国語への興味・関心の向上を図り、英語教育実施状況調査による5年で約70人の増加を目指す。(R3市内中学3年生数(約1,300人×6%) + α)	英検3級以上を取得している中学3年生の割合(英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒を含む)	
45	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている		◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(児童・生徒)	学校教育課	維持指標	児童・生徒%	90	90	90	90	90	90	90	郷土に誇りをもつ心を育むため、ものづくり・デザイン科学習後の児童生徒・教員アンケート集計結果を基に評価する。	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(児童・生徒)
46	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている		◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(教員)	学校教育課	維持指標	教員%	90	90	90	90	90	90	郷土に誇りをもつ心を育むため、ものづくり・デザイン科学習後の児童生徒・教員アンケート集計結果を基に評価する。	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(教員)	
47	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	③教育効果を高める教育環境の充実	㊦学習状況調査において、ICT機器を活用した授業をほぼ毎日行っていると回答した学校の割合	教育総務課	増加指標	%	61.2	65	70	75	80	85	Society5.0の時代に即したICT教育の充実を図る。このため、指標の目標値については、学習状況調査の「前年度に、教員が大型提示装置などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか。」の設問に対して、ほぼ毎日と回答した小・中学校の比率の平均を指標とする。	余裕教室の活用数	
48	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	④高等学校・高等教育機関の充実・連携	高等教育機関と連携した事業への参加者数	都市経営課	増加指標	人	360 (H30-R2平均)	370	380	390	405	420	高岡市と大学との協定等に基づいて実施する事業を抽出。基準値はH30～R2(3か年)の平均値。R8年度までに市内大学(富大芸文、法科大学)の生徒数約700名の約6割相当数が本市について学習する機会の提供を目指す。	大学と連携した事業への参加者数	
49	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学んでいる	①ライフステージに応じた生涯学習の振興	生涯学習センターの利用者数	生涯学習・スポーツ課	維持指標	人	110,534 (R2)	130,000	150,000	150,000	150,000	150,000	R2年度の利用者数を基準に、コロナ対策を講じた上で活動が戻ってくることを想定し、R4、5年度は増加としその後は利用者数維持を目指す。(現在はまだ利用制限が行われている状態)	生涯学習センターの利用者数	
50	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学んでいる	②未来を担う世代の育成と若者が主体となるまちづくりの推進	㊦中学校土曜学習における学習支援員(大学生)の延べ人数	生涯学習・スポーツ課	維持指標	人	22 (H30-R2平均)	30	30	30	30	30	中学校土曜学習において学習支援員として活動する大学生の人材を確保し、支援体制の充実を図る。1回あたり3人、全10回で延べ30人の学習支援員の確保を目標とする。	土曜学習の実施学校数	
51	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	①生涯スポーツ活動の充実	◎体育施設の利用者数	生涯学習・スポーツ課	維持指標	人	736,000	736,000	736,000	736,000	736,000	736,000	736,000	人口の減少や高齢化社会の進展する中で、幅広い年代の市民が気軽に体育施設を利用できるよう、環境づくりに取り組み、利用者数の維持を目指す。	体育施設の利用者数

No.	分野	めざましの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
52	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	②スポーツ施設の充実と効率的な活用	◎学校体育施設開放の利用者数	生涯学習・スポーツ課	維持指標	人	322,000	322,000	322,000	322,000	322,000	322,000	人口の減少や高齢化社会の進展する中で、幅広い年代の市民が気軽に学校体育施設を利用できるよう、環境づくりに取り組み、利用者数の維持を目指す。	学校体育施設開放の利用者数
53	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	①地域福祉の推進	◎㊦地域共生社会の実現に向け、地域住民が集い地域のことについて協議する場の開催回数	社会福祉課	増加指標	回	55 (R2)	60	70	80	90	90	コロナ禍で地域活動が自粛されているため、3年間でコロナ前の状況に戻ることを目標とし、令和7年度以降は各地区2～3回程度の実施回数で維持指標とする。	
54	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている		㊦地域共生社会の実現に向け、地区診断を実施し、あつまり総合補助事業実施地区数(累計)	社会福祉課	増加指標	地区	-	5	10	15	20	27	27地区全ての地区で地区診断を実施し、地区の実情に応じた事業を実施する取組みを進める。(活動計画の見直し含む)	
55	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている		ボランティアセンター登録人数	社会福祉課	維持指標	人	9,892 (R2)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	多様な機会や情報媒体を活用した情報発信を行い、地域福祉活動への関心を高めながら、地域福祉活動を担う人の数を維持していく。	ボランティアセンター登録人数
56	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実	障がい者相談支援センター相談件数	社会福祉課	増加指標	件/年	13,846 (R2)	15,000	15,250	15,500	15,750	16,000	高岡市障がい者基本計画(R3～R8)において、R8年度目標値を16,000件としていたことから、同数を指標とする。	障がい者相談支援センター相談件数
57	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている		㊦福祉施設利用者の一般就労への移行者数	社会福祉課	増加指標	人	15 (R元)	17	19	19	20	20	第6期高岡市障がい者福祉計画(R3～R5)において、一般就労移行者数を19人を目標値(国の基本指針で示された考え方に基づき令和元年度の移行実績の1.27倍を目標値として設定)としていたことから、同数をR5指標とする。さらにR8年度までに1名の増加を目指す。	年間新規就労者数
58	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	認知症サポーター養成数(累計)	高齢介護課	増加指標	人	19,788 (R2)	23,500	25,000	26,500	28,000	29,500	認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症を正しく理解し、認知症の方のよき理解者である認知症サポーターを増やす。年間約1,500人の増加を目指す。	認知症サポーター養成数
59	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている		㊦認知症高齢者等SOS緊急ダイヤルシステム協力団体配信箇所数(累計)	高齢介護課	増加指標	箇所	359 (R2)	420	450	480	510	540	認知症高齢者等が行方不明になった際、早期発見・保護につながるよう、認知症高齢者等SOS緊急ダイヤルシステムを普及し、協力団体配信箇所数の増加を図る。年間約30箇所の増加を目指す。	認知症高齢者等SOSダイヤルシステム登録者数(旧:徘徊SOSダイヤルシステム)
	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている													介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の立ち上げ数
60	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている		㊦要支援1・2の認定率	高齢介護課	維持指標	%	3.5 (R2)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	高齢者の増加により、要支援の認定率は将来推計では年々上昇しているが、介護予防施策の推進により、現在の3.5%の維持を目指す。	介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の一般介護予防事業の参加者数
61	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	健康寿命:市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間。	健康増進課	増加指標	男:歳	79.39 (R元)	79.51	79.63	79.75	79.87	80	都道府県別健康寿命(H30最新値)を参考に、北陸1位の県の数値を採用した。	健康寿命
62	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる		健康寿命:市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間。	健康増進課	増加指標	女:歳	84.89 (R元)	84.91	84.93	84.95	84.97	85	都道府県別健康寿命(H30最新値)を参考に、全国1位の県の数値を採用した。	健康寿命
63	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる		国保データベース(KDB)システムのデータを活用した、特定健康診査受診者に対するHbA1c(ヘモグロビンエイワンシー)6.5%以上の割合。	保険年金課	維持指標	%	13.9 (R2)	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	国保データベース(KDB)システムにおける特定健診受診者のHbA1c6.5%以上の割合について、基準値である令和2年度の13.9%の維持を目指す。	国民健康保険特定健康診査受診者における高血糖有所見者の割合

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
64	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	②医療体制・医療制度の充実	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(紹介率)	市民病院	維持指標	%	70.6 (R2)	70	70	70	70	70	市民病院第V期中期経営計画における指標値。地域の医療機関との関係強化により紹介率の上昇・維持を目指す。	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(紹介率)
65	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる		市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(逆紹介率)	市民病院	増加指標	%	90.4 (R2)	100	100	100	100	100	市民病院第V期中期経営計画における指標値。地域の医療機関との関係強化を図るため、積極的に逆紹介を行い、100%超えを目指す。	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(逆紹介率)
66	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	①環境保全意識の高揚	㊦住宅用太陽光発電高度利用促進事業の利用件数(累計)	地域安全課	増加指標	件	36 (R2)	60	80	100	120	140	住宅用太陽光発電高度利用促進事業の利用により、再生可能エネルギーの利用を促進し、併せて省エネルギーの普及啓発を図る。	住宅用太陽光発電の能力合計
67	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている		㊦環境啓発事業・環境教室の参加者数	地域安全課	維持指標	人	264 (R元)	270	270	270	270	270	環境に対する興味を育み、二酸化炭素排出削減にも繋がるよう、環境啓発事業及び企業と連携した環境教室を実施する。	子どもエコクラブ数
	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている													美化協定団体数
68	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	②環境保全対策の充実	地域で実施される美化活動の参加者数	環境サービス課	維持指標	人/年	27,700 (H29-R元平均)	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	美化重点地区を含む地域の美化を、地域単位で実施される美化活動により維持していく。	美化重点地区の美化活動参加者数
69	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	ごみの再生利用率	環境サービス課	増加指標	%	21.1 (R元)	23.5	24.0	24.6	25.4	26.1	第2次高岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画による。2027年度の目標値を国の2020年度の目標値である27.0%と設定し、割り返して中間目標年度である2022年度の目標値を23.5%としたもの。	ごみの再生利用率
70	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている		ごみの排出量	環境サービス課	減少指標	t	60,162 (R元)	60,023	59,826	59,306	58,946	58,560	第2次高岡市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画による。2016年度実績と将来予測人口から単純推計目標値を設定したもの。	ごみの排出量
	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている													埋立ごみ搬入量
71	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	㊦防災士の登録者数(累計)	総務課	増加指標	人	206人 (R2)	224	242	260	278	296	毎年防災士18人以上の防災士登録を目指す(直近10年の平均登録数)	校下(地区)連絡協議会設置数
72	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		総合防災訓練の実施地区数(累計)	総務課	増加指標	地区	7 (R3)	8	9	10	11	12	令和8年度までに12中学校区の訓練を実施する	わがまち訓練の実施地区数(累計)
73	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		㊦まるごとまちごとハザードマップの整備地区数(累計)	総務課	増加指標	地区	1 (R3)	9	17	22	24	28	令和8年度までに28校区の整備を実施する	デジタル化に対応した防災行政無線子局設置数
74	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	②消防・救急・救助体制の充実	救命講習会修了者数	消防本部	維持指標	人/年	2,688 (人口推計を基に算出)	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	救命講習会修了者数を指標とし、バイスタンダーCPR70%※以上【全国平均57.5%】を今後も維持するため、計画期間である2025年の推計人口を踏まえ、必要な救命講習会修了者数を基準値(2,688人/年)として算出し、目標値の設定を2,700人/年とした。 ※その場に居合わせた人の心肺蘇生法の実施率	救命講習会修了者数
75	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		防火防災講習会(デジタルコンテンツによる受講回数含む)参加者数	消防本部	維持指標	人/年	2,356 (R3.4現在の人口を基に算出)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	防火防災講習会参加者数を指標とし、平均出火率(住宅火災のみ【H29-R2】)0.63を今後も維持するため、現在の人口を基に、防火防災講習会参加者数を基準値(2,356人/年)として算出し、目標値の設定を2,400人/年とした。	防火防災講習会参加者数
76	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	③道路整備、交通安全・防犯対策の充実	㊦交通人身事故件数	地域安全課	維持指標	件	322 (R2)	322以下	322以下	322以下	322以下	322以下	高岡市内における交通人身事故の発生件数を322件以下に抑制する。	交通安全教室の実施回数

No.	分野	めざまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
77	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	花いっぱい連盟の花苗配布数(累計)	景観みどり課	増加指標	苗	50,317 (R2)	50,817	51,317	51,817	52,317	52,817	有償苗販売実績の増加は緑量を増やすことに繋がるため、5年間で5%(R2実績を基準50317苗×5%=2500苗、500苗/年)増加を目標値に設定した。	花いっぱい連盟会員数(個人)
	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている													花いっぱい連盟会員数(団体)
78	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		景観の届出行為に関する緑地面積と開発行為・区画整理事業による緑地面積の増加目標(累計)	景観みどり課	増加指標	m ²	5,000 (H28-R2平均)	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	一定規模以上の建築行為や住宅開発等に伴う緑地の創出。基準値を直近5年間の平均値とし、この創出量を維持するもの	市街地の緑地率
79	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑤河川・海岸の保全・整備	河川整備率	土木維持課	増加指標	%	87.9 (R2)	88.3	88.4	88.6	88.7	88.9	災害に強いまちづくりを推進するため、浸水対策として市が管理する準用河川を整備するもの。目標値は、改修延長/流路延長で算出した。	河川整備率
80	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑥雪対策の充実	民間消雪施設の更新・拡充	土木維持課	維持指標	箇所/年	6	6	6	6	6	6	耐用年数を超過した59箇所の更新と新規箇所(年1件)の整備を支援する。	民間消雪施設の更新・拡充
81	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		㊦除雪オペレーターの確保	土木維持課	維持指標	人/年	10	10	10	10	10	10	10人/年の車両系建設機械運転技能講習費等の資格取得にかかる経費を支援する。<新規:3人、入替え:7人>	
82	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑦上・下水道の整備	上水道管路の耐震化率	上下水道局	増加指標	%	24.8 (R2)	26.0	26.6	27.3	28.0	28.7	老朽管路の更新に合わせて耐震性に優れた管種・継ぎ手を使用し計画的に耐震化を進める。	上水道管路の耐震化率
83	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている		㊦汚水処理人口普及率	上下水道局 地域安全課	増加指標	%	96.2 (R2)	96.7	96.9	97.1	97.3	97.5	汚水処理の早期概成を図るため、地域の実情に適した効果的な整備(公共下水道、合併処理浄化槽)を推進する。 (汚水処理人口普及率=下水道、農集、浄化槽の普及人口の合計/行政人口)	下水道普及率
84	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑧消費生活の向上	㊦通話録音装置延べ利用者数	共創まちづくり課	増加指標	人	52 (R2)	80	110	140	170	200	通話録音装置を体験することで、悪質電話に勧誘される人を防ぐ。年間、年度内に返還される台数+未利用数の約半分に当たる30台の新規利用を見込む。	消費生活に関する相談件数
85	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	①市民が主役の地域づくりへの支援	㊦多機能地域自治組織の結成に向けた取組み開始地区数(累計)	共創まちづくり課	増加指標	地区	-	3	8	16	26	36	住民が自主的に地域課題の解決に取組むための基盤を、市全域に構築	市民活動情報ポータルサイト登録団体の数
	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている													地域コミュニティセンターの利用者数(各地区の合計)
86	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	②多文化共生社会の推進	◎多文化共生・国際交流(通訳・日本語支援・ホームステイ等)におけるボランティアの登録者数(累計)	共創まちづくり課	増加指標	人	128 (R3.4)	148	158	168	178	188	通訳・日本語支援・ホームステイ等のボランティア登録者数については、日本国籍の方も外国籍の方も対象としており、多文化共生のまちづくりへの理解が進んでいる状態を計測する指標である。第4次基本計画では防災支援ボランティアなど新たな分野を追加するなどし、ボランティア登録者数の年10件の増加を目指す。	通訳・ホームステイ等のボランティアの登録者数
87	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている		外国人のための生活相談コーナー(市役所1階)の利用者数	共創まちづくり課	維持指標	件/年	2,800 (H30-R2平均)	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	本市で暮らす外国籍市民の数は近年増加傾向にあり、外国人比率は2%を超え、国籍も多様化している。また、コロナ禍において、新型コロナウイルスに関する相談件数が増加しており、今後もこの傾向は続くことが予想される。外国籍市民が必要な情報を得ることができるとともに、日常生活および社会生活を円滑に営むことができるよう、相談体制を充実させながら、利用者数の維持を目指す。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画)	施策	指標(案) (◎は総合戦略KPIと同じ指標) (㊦は新規・変更のあった指標)	事業課	指標区分	単位	基準値	R4年度 (目標値)	R5年度 (目標値)	R6年度 (目標値)	R7年度 (目標値)	R8年度 (目標値)	指標(案)及び目標値設定の考え方	【参考】第3次指標 (◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)
88	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	③男女平等・共同参画社会の実現	㊦男女平等・共同参画に関する講座等の参加者数	男女平等・共同参画課	増加指標	人/年	195 (R2)	247	299	351	403	455	男女平等推進センターが開催する講座等の年間参加者数は、年々減少している。講座の内容や開催方法の見直し、個人や企業への周知方法の工夫により、ウィズコロナの新たな生活様式にも対応し、参加者数を増加する。コロナ禍以前の参加者数を目標とし男女の共同参画社会の啓発に取り組む。	男女平等・共同参画に関する講座等の開催回数
89	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	④平和な地域社会の形成	人権セミナー参加者延べ人数	共創まちづくり課	増加指標	人	400	810	1,230	1,660	2,100	2,550	人権について理解をする人を増やすことが平和な地域社会の形成に繋がると考える。毎年テーマを変えてセミナー(人権教室・講演会)を行うとともに、新たな参加者への呼びかけを図りつつ、参加者の理解を深める。(純増10人/年) また人権についての理解度についてはアンケート結果で把握する。	人権セミナーの参加者数
90	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる		㊦まちづくりの出前講座の動画数(累計)	秘書課	増加指標	件	-	5	10	20	25	30	出前講座のうち、動画提供に適した約30件の講座の動画を作成し、時間や場所にとられない受講環境を整える。	まちづくりの出前講座の年間参加者数
91	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	①市民に開かれた市政の推進	まちづくりの出前講座の参加者数(累計)	秘書課	増加指標	件	1,220 (R2)	2,320	3,420	4,800	5,400	6,000	令和2年度の出前講座の参加者数を基準値とする。講座の動画配信を行い、年間約600人の動画視聴者数を見込む。対面式講座の参加者数および動画視聴者数合わせて6,000人を令和8年度の目標とする。	まちづくりの出前講座の年間参加者数
92	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	②高度情報化の推進	㊦富山県電子申請サービスに登録している申請における電子申請の割合(電子証明書(子育てワンストップサービス)が必要な申請)	情報政策課	増加指標	%	0.24 (R2)	6.2	12.2	18.2	24.2	30	申請枚数の多い子育てワンストップ申請を基準に指標作成。高岡市のマイナンバーカード普及率36.73%(5月31日現在)に総務省資料「マイナンバーカード交付状況(6月1日現在)」の全体に対する交付枚数率(20歳～39歳)21.1%を乗じた結果から保有率を7.75%と換算。高岡市の人口をベースとした場合、当該年齢層では約12,000枚交付されており、そのうち子育て関係の申請は一人の申請となることから、電子申請上限は6,000枚。6,000枚のうちの半分の3,000枚の電子申請を目指すこととし、現在の紙による申請約10,000枚から電子申請への移行割合、30%を目標とする。	オープンデータの掲載データ数
93	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる		㊦富山県電子申請サービスに登録している申請における電子申請の割合(電子証明書が不要な申請)	情報政策課	増加指標	%	3.8 (R2)	9	14	19	25	30	いつでも申請できる電子申請手続きをさらに拡大し、住民等からの電子申請を紙ベース申請数の30%を目標とする。	
94	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる	③簡素で効率的な行財政の推進	㊦実質公債費比率18%未満の堅持	財政課	維持指標	%	18%未満	18%未満	18%未満	18%未満	18%未満	18%未満	現在、財政健全化緊急プログラム(H30-R4)に基づき、構造的な財政収支不足の解消を目指した取り組みを進めているところ。緊急プログラム終了後も、本市の財政構造から鑑みて、公債費の適正管理は引き続き重要な課題であることから、市債発行規模や公債費の適正管理を継続的に行っていく必要がある。	職員への信頼度